

成長する。 地域は人と。 人は地域と。

さつま町では、町民と各種団体、事業者、行政が連携しながら暮らしやすいまちづくりに取り組み、「ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町」の実現を目指しています。また、町民がスポーツを楽しみ、芸術・文化に親しめる機会の充実に努め、幅広い世代が伝統や歴史に触れられる環境づくりを推進します。



スポーツコンベンションのまち

子どもからお年寄りまで、積極的にスポーツに参加しています。グラウンド・テニスコート・体育館・プールなど体育施設も充実。日頃の練習はもちろんのこと、競技会も多数開催されています。宮之城高等学校(現在の薩摩中央高等学校)ラグビー部が全国大会に4度出場するなど、ラグビーとの縁も深く、30年以上前からラグビー合宿の地にもなっています。毎年、夏になると強豪チームが全国から集まります。

にぎわう スポーツ合宿



ラグビー・バレーボール・サッカーなどの強豪チームが来訪。プロサッカークラブのキャンプ地にもなっています。



吹奏楽のまち

吹奏楽が盛んなまちで、学校や一般の吹奏楽団が精力的に活動を行っています。音楽祭や演奏会などの開催も多く、町民は音楽に親しんでいます。宮之城中学校はかつて吹奏楽コンクールで全国2位という実績を持ち、近年では町内を拠点に活動する社会人吹奏楽団が全国大会でも活躍しています。



宮之城屋地地区 げんき文化祭り

「げんき健康祭り」と交互に隔年開催。五ツ太鼓やお遊戯などの舞台発表、書道や創作帯結びといった作品の展示があります。



神子地区 夏祭り

毎年8月12日に開催。吹奏楽部による演奏をはじめ、ダンスや和太鼓などで盛り上がります。地元の園児たちによるお神輿パレードや、川沿いで打ち上がる花火も恒例です。



時吉地区 厄払い親子相撲大会

厄年の男性が相撲を取って厄払い。小中学生も参加して、学年ごとに対戦します。還暦を迎える皆さんによる餅まきもあります。



求名地区 クリスマスマーケット

建築家・堀部安嗣氏が手掛けた「ある町医者の記念館」と「南の家」で開催されます。堀部氏のデビュー作である両施設を開放し、イルミネーションに彩られた建物の内外で飲食物や雑貨を販売します。



紫尾地区 もぐら打ち

小正月に行われる「もぐら打ち」は、地域の子どもたちが稲わらを結びつけた木の棒で庭先を叩き、五穀豊穡を願う行事。「モグラウチャモタンカ、モウテバウッコロスド」という掛け声でもぐらを追い払います。



終野ひがな花まつり

田園地帯に咲く約20万本のひがな花。毎年9月にイベントが開催され、参加者は絶景の中を散策します。



虎居地区 シバザクラの植栽

春に川内川河川敷の石積み間に約5,000株のシバザクラを植栽。地域の住民が力を合わせて、美しい景観を作り上げています。